

新春 おめでとうございます

2026年、あらたなページの幕開きです。

2026年が、あかるさに満ちた一年であること、すべての人の願いです。

あかるさといえば、MLBの大谷翔平さんでしょうか。

与えられた天性の優れた資質のなかでも、ひときわあかるさ、前向きさが光ります。

あかるさからいずる「あきらめない姿勢」が、止むことのない数々の劇的な瞬間を生みつづけます

一般社団法人和歌山県卓球協会も、このあかるさで明日への、未来への扉を、あせらず・あわてず・あきらめず開いていきたいと願います。

子どもも熟年者も、病や障がいにかかわらず、それぞれのもち味で、それぞれの人生を彩って、それぞれのステージで輝くこと、そのために卓球に求められる役割をしっかりとつかみ、求められるものにしっかりと応えていきたいと考えます。

ローカルは、グローバル。

たとえ小さな組織でも、求められる役割をきちんと果たしていくこと、一隅を照らすこと、それに勝るものはないと信じます。

これまで培ってきた経験と知恵を基盤に、あかるさを掲げてひたすら前向きに、未来に向け「分業」(分かち合い)と「共創」(支え合い)をくり広げて、2026年もいい汗をかいていきましょう。



一般社団法人 和歌山県卓球協会
会 長 茂 原 治